

# 大河原ロータリー

## クラブ会報

例会日：毎週木曜日 12時30分  
 例会場：和洋亭 ぶざん  
 柴田郡大河原町字新南25-18  
 TEL 0224-51-1113

会長：村上 則夫  
 副会長：樽見 正仁  
 幹事：佐藤 能文  
 副幹事：丸山 勝利  
 広報・ICO  
 委員長：津田 政行  
 副委員長：岩間 範男  
 委員：岡崎 隆・佐藤克美・高橋大志



2017~2018年度  
 国際ロータリーのテーマ

ロータリー：  
 変化をもたらす

ROTARY:  
 MAKING A  
 DIFFERENCE

2017-18年度 RI会長 イアン H.S. ライズリー

国際ロータリー第2520地区  
 2017-2018年度ガバナー 藤崎三郎助

事務所：〒989-1224 大河原町金ヶ瀬字町17 TEL0224-51-1400 FAX0224-51-1188 info@rotary-ogawara.com

## 2017年8月31日(木) 第2428回例会

会長 あいさつ

会長 村上 則夫



みなさまこんにちは、本日はえずこホール館長の水戸雅彦様ゲストスピーチどうぞよろしくお願いいたします。

まずは先週の炭火焼大ちゃんでの夜間移動例会に多数の皆様にお集まりを頂きまして大変有難う御座いました。皆様お友達を一緒に誘ってきて頂いて、是非その後のホローも宜しくお願ひしたいと思っております。

8月も今日で終わりという事ですが、本当に天候が不順でありまして、このまま秋に向かっていくのかと云うような状況の天候であります、今日は晴れましたが、私、犬の散歩をするのに朝早く起きるのですが随分涼しくなると言いますか、肌寒いような天候でありました、皆様にはどうぞ

体調にご留意頂きまして風邪等ひかないように過ごして頂ければと思っております。

後は皆様、やはり昨日一昨日の朝5時58分でしょうか、あのジェイアラートを聞かれて、私もあと少しで起きる時間にあれが鳴ったので、とても不快な思いをしたところではございますが、あの北朝鮮にはどのように対応したら良いのか国も迷っていると思ひます、私もどの様な対抗策で臨んだら良いのか誰も対応策が無いのかなと思っております、あの様にミサイルを打つことによって、やはり飛行機に乗りたくないとか、旅行は中々行きたくないとか、消費意欲がそがれる様な感じがしています、日本にとっても直接的な被害が無くても、その日の朝、新幹線が止ったり二次的な被害はかなり受けている様な感じがします。しかし私たちが幾ら騒いでも駄目だとは思ひますが、国レベルではしっかりと話し合ひはされているとは思ひますが、何というか私もこれについては結論が出ませんが、どうしたらいいのかなあと言う思いで一杯です。

あと本日、津田印刷にお願ひしておりました活動計画書作成が完了しております、皆様のお手元にお配りしましたので、どうぞ中身を確認して頂ければと思ひます。

ロータリーの友は会員の皆さんより1週間ぐらい早めに届きますが、その中に先日亡くなられたRI会長エレクト、サム・オオリ氏の原稿が載っておりますので原文をご紹介しますと思ひます。皆さんには来週になりますとご覧いただけますがその内容を少し紹介します。

サム・オオリ氏を偲んで、友人や同僚に惜しまれながら7月13日に手術後の合併症で急逝したサムF・オオリ会長エレクトを追悼する半旗が、現在、エバンストン（アメリカ・イリノイ州）にあるRI世界本部と世界各地のロータリー事務局に掲げられました。

2018-19年度RI会長として選ばれたオオリ氏は、アフリカ出身として史上2人目、ウガンダ出身としては初の会長となる予定でした。1978年にウガンダのカンパラロータリークラブ入会。「どんな状況でも常に陽気で、冗談を言い、みんなの気持ちを和ませてくれた」と長年の友人であるヒルダ・タドリアさんは故人を偲び

ます。

ウガンダではオオリ氏がガバナーを務めた 1988 年から、ロータリーが大きく飛躍。当時、ウガンダのクラブ数は9でしたが、現在は 89 クラブにまで成長しました。同国でのロータリーの大成長は、オオリ氏のお陰であると考えられています。

穏やかで謙虚な物腰のオオリ氏は「笑顔のサム」として人々の記憶に残るだろうと、イアン・ライズリー R I 会長は言います。

ウガンダのコーポレートガバナンス・インスティテュートの CEO として、その前はアフリカ開発銀行での仕事を通じて、またロータリーでの活動を通じて、彼は倫理の重要性を強調して来ました。

ロータリーでは、R I 理事、ロータリー財団管理委員、ロータリー財団地域コーディネーター、R I 会員増強地域コーディネーター、国連環境プログラムと国連ハビタットの R I 代表を歴任したほか、インターナショナル・ポリオプラス委員会、薬物乱用防止タスクフォース、監査委員会を含む数々の役職を務めました。また、ノラ夫人とともにポール・ハリス・フェロー、メジャードナー、ロータリー財団遺贈友の会会員と成りました。

お悔やみは、ノラ夫人宛てに郵便または E メールでお送りいただけます。「アドレスはロータリーの友よりご確認ください。」と云うような内容になっております。本日は以上で私の挨拶と致します。

## 幹事報告

幹事 佐藤 能文



皆さんご苦労様です。本日もご出席有難う御座います。

大変申し訳ございませんが、活動計画書 5 ページ 17 項目の幹事の所にミスプリントがありましたので、この訂正シールを貼って私の名前に変更をお願い致します。

今月の会報も仕上がっておりますのでどうぞお目通しの程宜しくお願い致します。

大事なお知らせがあります、「もっとロータリーを勉強しよう」という事で、村上会長と私幹事が研修を受けて来ました、全 3 回の 1 回だけ受けていますがパート 2 パート 3 と受けさせていただく予定ですが、ロータリーを 1 から勉強するためにも、このロータリーの研修会を是非とも受けて頂きたいと思っております、10 月 14 日・11 月 12 日と来年は 1 月下旬という事で日取りはまだ決まっておりますが、この内容のお知らせを回覧致しますのでご確認ください。

## 各委員会より報告

### 米山ボックスの報告 藤江裕佳里 委員長

佐々木由美子会員

### スマイル BOX の報告 森 徹 副委員長

武者昌洋会員 お休み続きで申し訳ありませんでした。皆様腰は大事ですね！

佐々木由美子会員 えずこホール館長の水戸雅彦様、本日はよろしくお願ひいたします。

村上則夫会長 えずこホール館長水戸様スピーチよろしくお願ひします。

藤江裕佳里会員 えずこホール館長水戸雅彦様スピーチ楽しみにしています。宜しくお願ひいたします。

小田部晃二郎会員 本日のスピーカーえずこホール館長水戸雅彦様を歓迎致します。

先週欠席、昨日柴田 RC でメイクアップ済みです。

森 徹 会 員 えずこホール館長水戸雅彦様スピーチ有難う御座います、楽しみにしております。

### 出席の報告 出席委員会 櫻井俊寛委員長

先週 24 日の移動例会は 25 名出席で 69.44%でございます。本日 31 日は 27 名出席の 75%でございます。



えずこホールでは、どういう考えでどんな事業を行っているのか概要をご説明させていただきます。

先程は、えずこサンタプロジェクトにご協賛頂きましたけれども、どのような考え方で、この事業を実施しているか、また「文化が地域を豊かに変えて行く」と書いてございますが、文化芸術と言うとどうしても、趣味であったり、教養であったり、娯楽というふうにとらえられがちですが、実は社会における文化芸術にはこれ以上沢山の広い意味があります、その考え方で事業を実施しておりますので、それについてご説明をさせていただきます。

※パワーポイントを使って説明を頂きましたので、下記のスライドをご覧ください。

大河原ロータリークラブスピーチ

## 文化が人とまちを豊かに変えていく

えずこホールの文化政策

アートによる人づくり・地域づくり

## えずこホールの事業展開について

### 基本コンセプト：住民参加型文化創造施設

(住民参加、アウトリーチ、ワークショップ、ボランティア)

### 事業の四つの柱

#### ① 住民参加型事業(住民創造グループ、現在200人以上が参加)平成28年度481回

- ・えずこミュージックアカデミー(音楽5団体)演劇2団体(住民劇団、子ども劇団)
- ・えずこボランティア(ホールボランティア、託児ボランティア)・えずこ園企画劇場

#### ② アウトリーチ事業(エデュケーションプログラム)平成28年度103本

- ・プロのアーティストによるもの(48本) ・小学校・福祉施設 ほか
- ・住民によるもの(23本) ・病院・福祉施設、地域のイベント

#### ③ オープンワークショップ 平成28年度48本

- ・さまざまなジャンル、敷居の低い内容、(音楽、演劇、ダンス、ボランティア、アートプロジェクト、まちづくり、音響・照明、えずこ広場、60歳からの楽しいクラブ活動etc.)

#### ④ 鑑賞事業(住民参加型、ワークショップ、アフタートーク等と組み合わせ複合的に)平成28年度10事業(14公演、うち住民参加型3本)

- ・古い芸術文化の分野からほんもの、質の高い作品を取り上げていく
- ・異文化体験(多文化共生)・中学生対象(中学2年生無料招待)

- ・フックをたくさんつくる：幅広いジャンル、老若男女、0歳から100歳まで、障がいを待つ待たない、社会的に問題を抱えている人、人種、国籍にかかわらずすべてが対象者。
- ・世界への窓としてのホール：ホールを通して世界を見る。さまざまな文化に、出会う、体験する、感動する、そのことにより心が豊かになる。(異文化体験、多文化共生)
- ・コミュニティの核施設：文化芸術の殿堂ではなく、住民が日々通い主体的に活動する施設。

## ●加速する貧困と社会的排除



日本: 非正規雇用40%超、相対的貧困率16.0% (6世帯に一世帯、6人に一人の子が貧困16.3%)

大人が1人の世帯の相対的貧困率が50.8% (2世帯に一世帯)

厚生労働省調査2012年



## 世帯収入と子どもの学力・学歴別の犯罪率

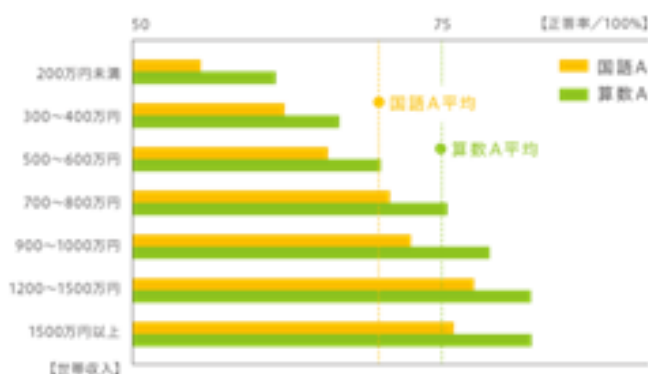


図1. 世帯収入と子どもの学力 (対象/小学6年生)  
2008年度全国学力テストの結果分析 出典: 文部科学省、専門委員会(2009年度報告)  
図の引用: 公益財団法人チャンス・フォー・チルドレンのホームページ

表2 学歴別の刑務所入所率 (2010年)

	a 人口	b 入所者	b/a 入所率 (対10万人)
男性			
小・中卒(㊶, ㊷, ㊸)	7,416,705	16,625	224.2
高卒(㊹, ㊺)	19,197,369	6,936	36.1
大卒(㊻)	15,748,763	1,101	7.0
合計	53,154,614	24,873	46.8
女性			
小・中卒(㊶, ㊷, ㊸)	9,339,457	1,319	14.1
高卒(㊹, ㊺)	22,202,899	720	3.2
大卒(㊻)	15,154,820	135	0.9
合計	57,122,871	2,206	3.9

\*合計には、在学者、不詳学者、学歴不詳者も含む。  
\*大卒のベース人口には、短大・高等学専修者も含む。  
\*総務省「国勢調査」(2010年)、法務省「矯正統計」(2010年)より筆者作成。

表2.男女とも、学歴の低い群ほど刑務所入所率が高くなっています。学歴による差は男性で大きく、大卒を基準にした倍率にすると、高卒は5倍、小・中卒は32倍にもなります。義務教育だけを修了した人間が刑務所に入る確率は、高等教育修了者の32倍。

## ●子どもの時期に貧困世帯で育つと:

死亡率が高い、病気になりやすい。ホームレスになる確率も高い。また学校の成績が悪い、成人してもいい職に就けない確率が高い。未成年の10代で妊娠してしまう確率が高い。また自殺率も高い。  
Ex:グラスゴー-カルトン地区(貧困層)、男性の平均寿命54歳。カルトンから3~4キロ南東のグラスゴー-レンジー(富裕層)という地区の男性の平均寿命72歳。理由は、人の行動パターンではなく、貧困と排除の結果である。

★「周りのおみんなにとっては当たり前な生活が自分だけ享受できない」という状態は、子どもたちに破壊的なダメージを与える。

★ 圧倒的な格差に長期間置かれると意欲喪失する。「なんで、僕だけ?」-「どうせ、僕なんて」

★ 貧困の連鎖-所得が低い家庭の子どもが低学力・低学歴となり、将来不安定な就業に陥ることで、次の世代にまで貧困状態が連鎖していく(=貧困の世代間連鎖)。

★ 貧困と社会的排除(差別)の中で人間は健全な生活を営むことができない。

★ 社会に貧困層や排除(差別)層がいることは、社会が健全でないことを示している。

貧困状態が社会的排除を生み、それが家庭、人生に大きな打撃を与える

貧困や社会的排除をなくしていくことが、社会の状況を改善し健全化していく  
社会的包摂(ソーシャル・インクルージョン)

## アートをもっと必要としているのはアートから最も遠い人たちである

コミュニティ・プログラム・まとめ

- 人は感動すること、自分の中から創造性が引きだされ、自己を表現していくことで活性化し、それは、心の豊かさ、幸福につながっていく。  
(参加体験→自己実現→人格的レベルアップ)
- 人は自分の存在を認められ、相手の素晴らしさを認め、お互いに助け合いながら共通の目的に向かって協働していくことで成就感、達成感が得られ、そのことにより、組織、社会はいまいきと活性化していく。  
(コミュニケーション能力の向上→自己肯定感、自己有用感→社会との関係性の改善)
- それらは、老若男女、障害の有無にかかわらず、どのような状況においても、すべての人が必要としているものである。(社会包摂→共生社会)

## 事業展開の考え方と可能性

目 標:地域課題解決 = 地域課題の掘り起し、組織の課題解決(意識改革)

体 制:組織横断 = 組織内部局の連携(意識の共有)、各種社会機関との連携

戦 略:市場創造 = 潜在需要(欲求)の開拓、地域課題の意識化、普及事業の展開



## 最後に

**\*人の営みのすべては文化活動である。  
成熟した社会は成熟した文化を持つ。  
文化の豊かさそのものが、国、地域の豊かさである。**

**\*教育(文化芸術)とは、世界を変えるために用いることができる、  
最も強力な武器である。ネルソン・マンデラ**

**\*国、地域をつくるのは人である。そして、人をつくるのは教育と  
文化である。**